授業科目　ボランティア実習

【担当教員名】	対象学年	1	対象学科	スポ
丸田　秋男	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

【<概要>】

「ボランティア論」で学んだボランティアの意義を理解し、医療・福祉施設または地域社会においてボランティア活動を行い将来、社会人として、または専門職及びその他の職に就く上で求められる豊な人間性の向上を目指す。

また、ボランティア活動の実践をとおして、多くの社会的問題に気づき、新しい共生社会の創造する力を養う。

【<学習目標>】

1．ボランティアの意義を理解し、機会をみつけて積極的にボランティア活動に参加できるようになる。
2．ボランティア活動に参加することによって自分自身の向上を図るとともに、専門職として求められる人間性を身につける
3．本来“人”に備わっているやさしさ、思いやりの精神をもって“人との触れ合い”を広く体験することにより、コミュニケーションの学習及びQOLの実践をはかる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	（1）はじめに ボランティア実習に関するオリエンテーション 11月中旬の予定		講義
	（2）ボランティア活動 1）実施期間：11月～2月 2）実施時間：30時間 但し、1ヵ所または2～3ヵ所に分けて実施してよい 3）活動先の選択 医療・福祉関係施設または地域社会その他ボランティアを必要とする社会資源を学生自信が選択し、自主的にすすめる		実習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 （必ず購入する書籍）	指定しない			
参考書	必要に応じて紹介する			
その他の資料	必要に応じて紹介する			

【評価方法】	【履修上の留意点】
ボランティア実習のレポートと「ボランティア実習実施確認書」の提出により、単位を認定する。	地域貢献と言う視点でのボランティア活動が望ましい。また、ボランティア実習を依頼するときやボランティアの実習中は学生として、また、社会人としてのマナーを守ること。